

再び「中央魂」を!

スポーツの秋から芸術の秋へ…運動会が終わった途端、中央中全体が、新たな目標である合唱コンクールに向けて動き始めました。

12日(金)に行われた全校集会の講話で、寺島は、運動会のスローガンとして注目された「中央魂」を発揮して合唱コンクールに取り組むよう、生徒たちに呼びかけ、以下のような話を行いました。

校内に響き渡る声が、長縄跳びのカウントから合唱へと変わってきました。スポーツの秋から芸術の秋へ—みなさんの新たな挑戦が始まりましたね

さて、その合唱コンクールに向けて私からみなさんをお願いしたいことが一つあります。それは、みなさんが運動会で見せてくれた「中央魂」を合唱コンクールでも再び発揮してほしい、ということです。

思い出してください。「中央魂」とは何だったでしょう。生徒会長の丹羽君が教えてくれたとおり、一生懸命になること、全力で事に当たることでしたよね。「合唱」という言葉は、たくさんの人が合わさって歌うという意味ですが、「合わせて歌う」という意味に解釈するとき、心を合わせるものが自然に連想されてきます。

40もの違う声をつの美しいハーモニーにまで仕上げるためには、繰り返し歌い込んでいくしか方法がないと思います。そして、その繰り返し行われる練習を支えるエネルギーこそ、一生懸命とか全力を意味する「中央魂」にほかなりません。

実は「歌」という言葉そのものに一生懸命とか、全力といった意味が宿っているのです。例によって語源を調べたところ、いろいろな説がある中で、最も有力なのは「ウツタフ」すなわち「訴える」からきているというものでした。「裁判所に訴える」や「この小説は読むものの心に訴えてくる」といったときの「訴える」ですね。

裁判でも小説でも、共通しているのは、自分の正しさや思いなどを相手に理解してもらうために全力で表現するという真剣な思いがあるということです。特に裁判の場合は、罪に問われるかどうかの瀬戸際ですから、文字どおり命がけになる場合もあります。

私たちが毎日の生活の中で頻りに耳にして、何気なく使っている「うた」という言葉は、実のところ、そんな背景をもって生まれた言葉なのです。ですから、みなさんも「ただボーッと歌詞を口にする」のではなく、「この歌の力や良さを聴く人にも分かってほしい」といった思いを込めて歌い込むようにしてください。

そう言えば、1年生の課題曲「マイバラード」にも、「届け愛のメッセージ」という歌詞がありますよね。そのとおりだと思います。

限られた練習時間ですが、「中央魂」で練習し、自分たちの合唱を仕上げてください。本番を楽しみにしています。

スポーツに、文化に大活躍～10月の表彰～

本
日開催された全校集会に先立って行われた表彰において、以下の人たちが表彰されました。表彰された人たちは、スポーツに文化的な取組に大活躍してくれました。賞状は、表彰された人の努力や才能の結晶であると同時に、全校生徒の励みにもなります。今後も持ち前の才能や努力をますます磨いていってください。

【水泳部】

※以下 敬称・記録略 (数字)は学年

○ 桐生市民大会水泳競技大会

| | | |
|--------------|-----|---------|
| 男子200m個人メドレー | 第1位 | 小濱壱晟(3) |
| 男子200m自由形 | 第1位 | 小濱壱晟(3) |
| 男子100m背泳ぎ | 第2位 | 丹羽歩夢(3) |

- 男子 50m自由形 第3位 丹羽歩夢 (3)
 ○ 県選手権水泳競技大会
 男子100m背泳ぎ 第8位 小濱壱晟 (3)
 【ソフトテニス部】
 ○ 市新人大会
 男子団体 第3位 矢野天翔 (2) 大川純太朗 (2) 石田匠 (2) 岡田一輝 (2)
 木島日向 (2) 丹羽健志 (2) 木野内瑠日 (1) 小林駿太 (1)
 【バスケットボール部】
 ○ 市新人大会 (兼市民大会)
 女子 第3位 町山すみれ (2) 相澤茉緒菜 (2) 川堀多央 (2) 高堂花恋 (2)
 安田望央 (2) 吉田泉 (2) 松倉結 (2) 長濱晴菜 (2)
 荒島六花 (1) 茅野美空 (1)
 【バレーボール部】
 ○ 市新人大会 (兼市民大会)
 女子 第3位 江ノ畑茉青 (2) 津久井叶羽 (2) 野口苺 (2) 吉田馨花 (2)
 亀井さくら (2) 山岸奈央 (2) 武井陽菜 (2) 久保田果歩 (1)
 岡部珠蘭 (1) 神山理帆 (1) 小林由奈 (1) 久保輝果 (1)
 宮本柚月 (1)
 【陸上部】
 ○ 県新人陸上競技記録会
 女子共通走高跳 第8位 藤田優 (2)
 ○ 市新人大会 (一部兼市民大会)
 女子共通4×100mR 第7位 川村莉子 (1) 田村心菜 (1) 藤田優 (2) 森部柚帆 (2)
 1年男子1500m 第7位 兒玉結貴 (1)
 共通男子走高跳 第6位 瀬戸遥稀 (1)
 1年男子走幅跳 第5位 山崎祐輔 (1)
 共通女子走幅跳 第6位 森部柚帆 (2)
 1年女子走幅跳 第2位 川村莉子 (1)
 1年女子100m 第7位 田村心菜 (1)
 1年女子800m 第3位 近藤優日 (1)
 共通女子走高跳 第2位 藤田優 (2)
 【バドミントン部】
 ○ 市新人大会 (兼市民大会)
 1年女子シングルス 優勝 新井萌愛 (1)
 【柔道】
 ○ 市新人大会
 男子個人1,2年重量の部 第3位 吉田大和 (2)
 【空手】
 ○ 桐生市民大会
 個人形中学生男子 第3位 山崎祐輔 (1)
 【ボウリング】
 ○ 上毛新聞社杯争奪ボウリング競技大会
 女子個人総合 優勝 金子萌夏 (2)
 混合2人チーム戦 第3位 金子萌夏 (2)
 混合4人チーム戦 第6位 金子萌夏 (2)
 【善行表彰】
 ○ 桐生ロータリークラブ善行青少年表彰
 張乃之 (3)
 【英語弁論大会】
 ○ 桐生市中学校英語弁論大会
 一般の部 第2位 今泉涼 (3)
 海外在住経験者の部 優秀賞 長竹清弥 (2)
 ○ 県中学校英語弁論大会 (兼高円宮杯全日本中学校英語弁論大会県大会)
 一般の部 優秀賞 今泉涼 (3)
 【駅伝】
 ○ 桐生市・みどり市総合体育大会駅伝大会
 女子総合 第4位 高堂花恋 (2) 町山すみれ (2) 近藤優日 (1) 長濱晴菜 (2)
 吉田泉 (2)
 女子第2区 第3位 町山すみれ (2)
 女子第5区 第2位 吉田泉 (2)
 【美術】
 ○ 桐生市緑と花のポスターコンクール
 最優秀 齋川恵来 (2)



▲ 齋川さんの作品